

第1回 「地域活動協議会合同研修会」開催報告

開催日時：

2013年10月22日 15:00～17:00

開催場所：

淀川区役所5階会議室

参加者：

10地活協61名

全体の流れ：

- 15:00 開会あいさつ、趣旨説明
- 15:10 [第1部] 「地域活動協議会」って何？
講師：りそな総合研究所 藤原明氏
- 15:40 [第2部] ワークショップ「地域活動のあるべき姿と現状・課題」
グループワーク、全体発表
- 17:00 閉会

内容：

第1部では、りそな総合研究所の藤原明氏よりご講演を頂いた。

藤原氏は、地域活動協議会には地域課題に対して多様な主体が共有・共感しながら取り組む「協働」が求められており、それを実現するためにはお互いの「強み」と「課題＝やるべきこと」をしっかりと把握することが大切だと強調。

そのための手法として、地域のあるべき姿（将来像や夢）と現状の差から課題を導き出し、それに対して実施された取組みと今後やるべきことを明らかにしていくワークショップを紹介された。

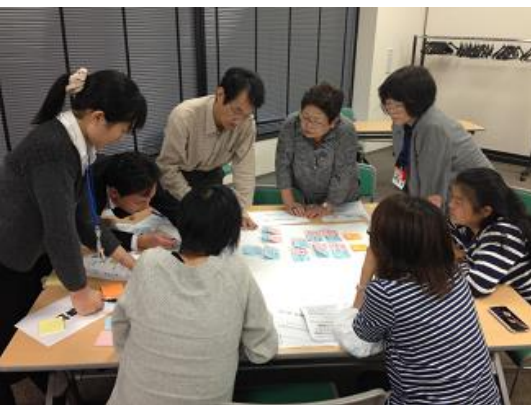
第2部では各地域6人程度に分かれたグループにて、5段階のステップによるワークショップを実施。これまでの活動や活動を始める原点となった想いについてポストイットに書き出しながら、メンバー間でそれぞれの想いを共有。

「これからも自分たち自身も楽しみながらできるような活動をしていきたい」「活動を続けるためにも資金面についての配慮が必要ではないか」「地域内で学ぶ機会を作っていきたい」「次世代が地域活動とのつながるために、企画の段階から携わってもらえるように、仕掛けを考えよう」「色んな取り組みをしているのでそれをまとめた広報が必要」等、各地域で活発な意見が交わされた。

最後には各グループのファシリテーターがワークショップの結果を発表。他の地域がどのような話し合いをしているのか、これからどんな活動をしていこうと考えているのかについて、参加者は興味深く耳を傾けていた。

2014年2月3日
淀川区まちづくりセンター支部

当日の様子（写真）：



第2回 「地域活動協議会合同研修会」開催報告

開催日時：

2013年11月15日 18:30～20:30

開催場所：

淀川区役所5階会議室

参加者：

6地活協34名

全体の流れ：

- 18:30 開会あいさつ、趣旨説明と協働事例紹介
- 18:45 [第1部] 「地域活動協議会」って何？
講師：りそな総合研究所 藤原明氏
- 19:05 [第2部] ワークショップ「地域活動のあるべき姿と現状・課題」
グループワーク、全体発表
- 21:00 閉会

内容：

冒頭で浜辺アドバイザーより、淀川区まちづくりセンターが取り組んだNPOや専門学校・企業と地域による複数の協働事例について写真を使ったスライドで紹介があり、藤原氏からの第1回目と同様の講義と合わせ、参加者は地域活動協議会における協働の意義について認識を深めた。

第2部では地域ごとのグループでワークショップを行い、模造紙を囲んで「夢と現状」「これまでの活動」や「取り組みのきっかけ」「やるべきこと」をテーマに話し合った。

各グループからは「若手の成り手がいないことが問題」「企業を巻き込んでいきたい」「地域清掃活動に自らが参加することでごみを捨てにくくなる」「大人になってから自分の生まれた育ったまちを思い出すような、郷土愛を持てるまちにしたい」「学校や企業ともっと連携していきたい」など、さまざまな意見が出された。

初めは、「ポストイットに何を書いたらいいのか？」とペンが止まっていた方も、1枚書くところな事やってきた、あんな事もしてきた、今はこういう活動をしているなど、次々と意見が出てきた。また、他の人が書いたのを見て「こんなこと書いてもいいの？」と言いながら追加して書く方もいた。

地域活動を継続されてきた方だからこそ実感している「課題」と「やるべきこと」について、2回の合同研修会を通じ全体で共有することができた。

2014年2月3日
淀川区まちづくりセンター支部

当日の様子（写真）：

